

自己評価チェック表

公表

あなたの普段の保育を振り返りながら、次の各項目について、あなた自身できていると思うか、3段階で自己評価してください。

できている【A】 ややできている【B】 努力が必要【C】

Ⅰ. 保育の理念・保育観

		9月	3月
1	あなたは、すべての子どもについて、一人ひとりの存在とその人権を尊重していますか。		
2	児童福祉法の理念に基づき、子どもの最善の利益を考慮して、子どもの生活と健全な発達を保障することが保育園の重要な使命だと理解していますか。		
3	あなたは、日頃から「保育所保育指針」をよく読み、その理念を理解したうえで、保育内容や保育方法を考えるときのガイドラインとしていますか。		
4	あなたは、保育所保育は養護と教育が一体となって行われている、ということ意識して保育していますか。		
5	あなたは、子どもに、文化や生活習慣、考え方が多様であることを知らせ、それらを尊重する心を育てるよう努めていますか。		
6	子どもの発達について理解し、一人ひとりの発達過程に応じて保育していますか。		
7	子どもが安心感と信頼感を持って活動できるようにしていますか。		
8	様々な特徴（障害）を持つ子どもも持たない子どもも、一人ひとりのありのままの姿を受けとめ、地域のすべての子どもが健やかに成長することを願って保育をしていますか。		
9	子どもの家庭環境は多様だという考えの上で、今、その子に何が必要かを見極め、それぞれにとって適切な援助をしていますか。		
10	あなたは、個人情報の保護に配慮し、子どもやその家庭についての秘密を正当な理由なく漏らすことがないようにしていますか。		
11	子どもの性差や個人差にも留意し、性別による固定的な意識を植え付けることがないように配慮していますか。		
12	あなたは、子どもと一緒に思い切り体を動かして遊ぶことの重要性を理解し、楽しんでいますか。		
13	あなたは、一人ひとりの子どもに目が行き届いていたか振り返り、これからの保育の課題を見つけることができますか。		

	A	B	C	計
9月	58%	37%	5%	
3月	70%	26%	4%	

II. 保育の内容

① 保育計画・指導計画

		9月	3月
1	あなたは、指導計画を作成するとき、「保育所保育指針」を読み、参考にしていますか。		
2	あなたは、保育園の方針である保育計画をもとにして、指導計画を作成していますか。		
3	あなたの月案には、教育的側面（五領域の視点）だけでなく、養護的側面（基礎的事項）もしっかり盛り込まれていますか。		
4	子ども一人ひとりの発達の姿や興味の対象の実態を把握して、月・週案などを作成していますか。		
5	あなたの月・週案などには、子どもの意欲を誘う環境構成が十分工夫されていますか。		
6	複数担任の場合、よく話し合ってお互いの考えを十分理解した上で、月・週案などを立てていますか。		
7	あなたは、季節感や伝統的な行事などを指導計画のなかに取り入れるようにしていますか。		
8	月・日案などが、実際の子どもの姿、興味・関心に合っていたかという視点から自分の保育を評価・反省していますか。		
9	月1回以上、自分自身の指導計画の振り返り・評価を行い、その結果を次の指導計画に生かしていますか。		

	A	B	C	計
9月	32%	54%	14%	
3月	54%	34%	11%	

② 乳児保育

該当しない

		9月	3月
1	あなたは、一人ひとりの子どもの出生時の状況、その後の発育・発達など、生育歴を細かに把握するとともに、保護者の状況などの背景も理解していますか。		
2	哺乳瓶の消毒、調乳、沐浴の仕方など基本的な事柄や、子ども一人ひとりの健康状態などを、随時職員相互で確認し合っていますか。		
3	授乳について、その子が欲しがるときにやさしく抱いて微笑みかけ、ゆったりと飲ませていますか。		
4	離乳食は、家庭と連携をとりながら、一人ひとりの育ち具合やその日の体調に合うように工夫していますか。		
5	おむつ交換は「きもちいいね」などとやさしく声をかけたり、マッサージしたりして、排便の回数、便性を把握して臀部を清拭していますか。		
6	赤ちゃんの目の動き、泣き声、しぐさ、片言をメッセージとして受けとめ、ほほえみ、要求に応じる言葉をやさしく返していますか。		
7	子どもを外気に触れさせたり、適度な戸外あそびを取り入れたりして、健康増進をはかるようにしていますか。		
8	喃語には、ゆったりと応えたり、やさしく話しかけたりして、発語の意欲を育てていますか。		
9	絵本を見せながら、その子の指さすものに答えたり、やさしい言葉を添えたりして、あなた自らもそのやり取りを楽しむことができますか。		
10	寝返りができない乳児を寝かせる場合には、仰向けに寝かせるようにするとともに、睡眠中の姿勢、かけぶとん、呼吸等の確認をしていますか。		
11	一人ひとりの生活リズムや欲求、その日の体調等を把握した上で、睡眠の時間を調節したりする柔軟性を持ち合わせていますか。		
12	おたより帳を活用するなどして、保育園以外での子どもの様子も把握するように努めていますか。		

	A	B	C	計
9月				
3月				

③ 3歳未満児保育（1，2歳児）

□該当しない

		9月	3月
1	「できない、やって!」と甘えてくるときは、その都度、その子の気持ちを受けとめ、一人ひとりの発達に応じて要求を満たす援助をしていますか。		
2	あなたは子どもの「これな～に?」「どうして?」などの繰り返しの質問に、忙しいときでもできるだけその都度応えようとしていますか。		
3	探索活動が十分行えるよう、安全にはよく気を配りつつ、環境を整えたいうえで、子どもが要求する行動を容認できますか。		
4	着替えや食事などの時には、その子に応じた手助けやことばかけをしながら、時間を要しても自分からしようとする気持ちを大切にしていますか。		
5	食べ物をこぼしたり汚したりしながらも、子どもが自分で食べる意欲を育てるために、楽しい雰囲気ですることができるとを第一に考えていますか。		
6	子どもがおもちゃの取り合いなどでぶつかり合うとき、危険のないよう配慮しつつ、子どもの発達の程度や心の動きを考えながら、しばらく見守ることが出来ますか。		
7	「おや、何だろう?」「これで遊ぼう」と好奇心や興味を引き起こす教材や素材、場を用意する心配りをしていますか。		
8	散歩の時、保育者も一緒に楽しみながら、花や葉、虫や動物などを見つけたりして、子どもとともに自然物や動物への興味・関心をもつことを大切にしていますか。		
9	子どもと会話をするとき、その子の目線に合わせて話をゆっくり聞いて、子どもの話したい気持ちや伝わった喜びを共感していますか。		
10	あなたは、自分の表情に配慮しながら、子どもにわかるように、ゆっくり、はっきり、おだやかに、具体的な短い言葉で語りかけていますか。		
11	子どもに「絵本読んで」「遊んで」と言われた時に、場面に応じて「待って」と言った場合にも、その理由を伝え、その子の気持ちに答えていますか。		
12	歌を歌ったり、リズムにのって体を動かすとき、あなたは歌や動きを子どもに合わせ、一緒に楽しむことができますか。		
13	わがままで「いやだ」という子どもの内面に配慮しながら、その子の気持ちを肯定的な方向に向けるようにしていますか。		
14	自分の思いどおりにならず、怒ったり泣いたりする子どもに対して、丁寧に話してきかせたり、気持ちを切り替える時間を取り、ゆったりと待つことができますか。		

	A	B	C	計
9月	55%	42%	3%	
3月	60%	38%	2%	

④ 3歳以上児保育

□該当なし

		9月	3月
1	あなたは、子どもが安心して自分の気持ちを伝えられるように、いつも心を開いて、信頼関係をつくる努力をしていますか。		
2	子ども一人ひとりの背景や保護者の状況を理解し、受けとめて、安心して甘えられるように、その子の気持ちに寄り添い、支えていますか。		
3	日常生活でのしぐさをよく観察して、行動や身体の異常などの早期発見に努めていますか。		
4	あなたは、子どもが、配膳の手伝いなど、食事に興味をもてるような機会を作るようにしていますか。		
5	「食育」の活動の一環として、調理をしているところを子どもに見せたり、調理員の話聞かせたりして、子どもが食材や食事に関心をもつようにしていますか。		
6	天気の具合や活動の内容・程度に応じて、衣服の着脱、調節を子ども自ら考えられるように言葉をかけていますか。		
7	おもらしをしたり、排泄の後始末がうまくいなくても、さりげなく対応し、自分でできるように個別の指導がなされていますか。		
8	子どもたちが快い疲労感を感じて昼寝に入れるよう、十分な遊びの場や時間を設けるようにしていますか。		
9	清潔でいることは気持ちよいことと子どもが知るために、手洗い場、トイレなどをいつもきれいにしていますか。		
10	子どもがいろいろな楽しさを味わうため、散歩など戸外に出かける機会を積極的に多く取りいれていますか。		
11	子どもが外で十分に体を動かして遊びに興ずることができるように、日頃から園庭や固定遊具の整備をしていますか。		
12	あなたは、子どもがうれしい時や悲しい時、また困ったり戸惑ったりした時に、それを伝えたい存在となっていますか。		
13	あなたは、その子の発達の段階を理解して働きかけながら、子どもがきまりや約束の大切さに気づき、それを守ろうとする態度を養うように努めていますか。		
14	子どもたちのけんかやぶつかり合いを、友だちを知る機会や、社会性が育つ過程として受けとめ、その育ちを見守ることができますか。		
15	タテ割保育などのとき、発達や生活経験の違いに着目して、それぞれの子どもがもっている課題を見いだすことができますか。		
16	散歩で拾ってきた木の葉・木の実など、いろいろな物を比べたり調べたりして、自然の不思議さや面白さを子どもたちと共感するとともに、物の性質や数・量などに対する興味を育てていますか。		

		9月	3月
17	子どもの質問や疑問に、すべて答えたり、すぐに回答を出すのではなく、実物を見せたり図鑑などで調べたりする誘いかけもしていますか。		
18	子どもが自由に取り出して遊べるよう、遊具・用具などの構成を整え、その量や補充について工夫していますか。		
19	言葉は、コミュニケーションや思考・行動のために不可欠なものであることを認識し、幼児期に言葉を豊かに身に付けられるように努力していますか。		
20	日頃あなたは、声の大きさに気をつけ、わかりやすい、子どもへの心を込めたあたたかな言葉づかいでゆっくり話すようにしていますか。		
21	子どもが登園してきたとき、いつも笑顔で挨拶をし、その時々に必要な言葉をかけるようにしていますか。		
22	子どもが話かけてきたとき、その内容や結論がわかっているにもかかわらず、じっくり聞いて会話したい気持ちを満たし、言葉で伝えあう場を大切にしていますか。		
23	紙芝居や絵本の読み聞かせで、子どもが感動したり想像力を膨らませるように、あなた自身もその内容を楽しんでいますか。		
24	あなたは「早く～しなさい」「だめ」「いけません」などの指示・命令する言葉や禁止語をできるだけ使わないようにしていますか。		
25	子どもに言い聞かせるときには、問い詰めたり、押し付けたりせずに、子ども自ら考えるきっかけになるようなわかりやすい言葉づかいをしていますか。		
26	見たこと、感じたものに対して、言葉、絵、造形、からだ、音などその子が最も好きな、得意とする方法で表現することを大事にしていますか。		
27	鈴、カスタネットなどのリズム楽器を活用し、子どもが音色やリズムの楽しさを満喫できるようにしていますか。		
28	子どもが自分の作品を大切にされていると感じられるように、展示のしかたなどを工夫していますか。		
29	ハサミなど危険を伴う道具には、正しい使い方や後片づけのしかたを日常的に指導していますか。		

	A	B	C	計
9月	36%	49%	15%	
3月	48%	41%	11%	

⑤ 特別な配慮や支援を必要とする子ども（障害児）の保育

		9月	3月
1	保育園は、障害をもつ子どもそうでない子ども「共生」「共育」の観点から、当たり前のこととして保育するという考え方にあなたは共感しますか。		
2	障害児が入園した時、安全管理や個別的対応などその子を受け入れるための保育を、積極的に進めようと考えていますか。		
3	障害児について素朴な疑問をなげかけてくる子に対して、必要に応じて障がいの性質や行動の困難さなどについて、丁寧に説明していますか。		
4	あなたは、障害児もそうでない子ども互いのよさを感じとり、楽しく交流できる雰囲気づくりに励んでいますか。		
5	あなたは、障害児の世話をし過ぎる子どもや、逆に無関心な子どもの存在に気づき、それへの配慮を心がけていますか。		
6	あなたは園でのケース会議で積極的に議論することにより、園内の障害児への理解を深めるよう努力していますか。		
7	障害児の保護者が、様々な苦しみや悩みを抱えてきていることを、触れ合うなかで感じることはありませんか。		
8	日常的に障害児の保護者との話し合いの場等を設けて、不安や焦り等悩みを抱えている保護者の気持ちの援助に心がけていますか。		
9	就学に向けて相談する障害児の保護者に対して、保護者が自分で方向を決めていけるように相談に応じたり、情報提供をしたりしていますか。		
10	障害児を受け入れている園の方針を、健常児の保護者に理解してもらえるように努力していますか。		
11	障害児保育をより豊かなものにするために、子どもたちにふさわしい環境・物的環境（遊具等）を整えるなどの努力をしていますか。		
12	あなたは、障害児により適切な保育をするために、様々な専門機関等と連携をしていますか。		

	A	B	C	計
9月	34%	41%	25%	
3月	38%	45%	17%	

Ⅲ. 保健活動・安全管理

		9月	3月
1	子どもの健康状態並びに発育及び発達状態について把握し、それを保護者や全職員に伝え共通理解を図るとともに、日常の保育に生かしていますか。		
2	その子の体調の些細な変化や異常に速やかに対応するために、日常的な体調や機嫌の状態をつかむよう努めていますか。		
3	感染症やその他の疾病の発生予防に努め、その発生や疑いのある場合は、必要に応じて、保護者に協力を求めていますか		
4	あなたは、睡眠中の子どもの顔色、呼吸の状態を観察するなど、SIDS等への予防に努めていますか。		
5	あなたは、日頃から虐待の早期発見を心がけ、虐待が疑われる場合には、園長に伝えるなどの防止策を考えていますか。		
6	備品棚やピアノなどの転倒防止、その他事故が起こらないように、あなたの保育室内外の安全点検を、毎日怠らないように努めていますか。		
7	園庭や砂場にガラス片など危険なものがないか調べたり、砂場を掘り返して整えるなど、安全な環境づくりの努力をしていますか。		
8	地震等の災害や火災に備え、積極的に避難訓練等に参加し、非常災害時にあなたが何をしなければならないか理解していますか。		
9	そのまま見過ごしたら明らかに危険な行動には、理由を説明して「いけません」「やめなさい」などの言葉ではっきりと制止していますか。		
10	不審者が侵入した場合に備えて、子どもの安全を確保するための対応策を日頃から心がけ、職員間で話し合っていますか。		

	A	B	C	計
9月	29%	43%	28%	
3月	51%	39%	10%	

IV. 保護者・地域社会・関係機関との連携

		9月	3月
1	園での様子を伝え家庭での様子を聞くなかで、子どもの育ちを保護者とともに、考え、喜びあうことができますか。		
2	その日の子どもの健康状態や興味をもった遊びなど、必要に応じてお迎え時に保護者に丁寧に伝えるように努めていますか。		
3	保護者が育児の悩みや心配事を話してみたくなり、一緒に考えてくれる存在であると思えるよう、あなたはこちらからすすんで触れ合うことを心がけていますか		
4	子育て等に関する相談や助言にあたっては、保護者の気持ちを受けとめ適切な支援をするよう努めていますか。		
5	あなたは、おたより帳を、保護者がその内容をよく理解でき、楽しみにするような書き方をしていますか。		
6	あなたは、保育園が地域の中学・高校の生徒との交流をしたり、実習生を受け入れるときに、めんどうがらずに指導することができますか。		
7	散歩や行事などで、子どもたちが地域の人々と触れ合う機会をもつようにするとともに、気持ちよくあいさつをかわしていますか。		

	A	B	C	計
9月	55%	41%	4%	
3月	79%	19%	2%	

V. 保育園の職務・役割分担

		9月	3月
1	あなたは、職員会議で必要と思う質問や意見をはっきり発言することができますか。		
2	職員会議等で自分の意見や考えと違う結論が出たときも、それに従って気持ちよく協力し、実行できますか。		
3	あなたは、保育士として、他の職種の職員やパートの人たちにどんな役割りを果たしてほしいか、具体的な期待をもっていますか。		
4	あなたは、欠勤した日の出来事や連絡・注意事項は、自分から尋ねて理解するなど、職員間の連携に努めていますか。		
5	あなたは、自分のクラスの教材や備品を、責任をもって毎日点検・管理していますか。		
6	あなたは、たとえ自分のクラスのものでなくても、教材・教具などの管理が不備であれば、自らすすんで整えることができますか。		
7	あなたの本来の業務以外に保育園にかかわる仕事を頼まれたとき、それも職務の一端と考え、責任をもって引き受けていますか。		

	A	B	C	計
9月	39%	44%	17%	
3月	44%	41%	15%	

VI. 保育士としての資質向上(研修・研究活動)

		9月	3月
1	あなたは、保育士としての責務と誇りを自覚して、人間性と専門性の向上に努めていますか。		
2	あなたは、自分の保育を振り返り、問題点や課題をみつけることができますか。		
3	自分の保育に対する同僚や上司からの批評や意見を、感情的にならず謙虚に聞き、時には反省することができますか。		
4	保育をする中で生じた疑問や悩みを、同僚や上司にわかるように説明することができますか。		
5	あなたは、その日の子ども一人ひとりの活動や姿を、しっかり記録に留めることができますか。		
6	あなたは、どのような子どもについても、一人ひとりの課題をみつけ、ケーススタディーをすることができますか。		
7	あなたは、保育の悩みや疑問を解決するために、研究・専門書を見つけて、そこから学ぶことはできますか。		
8	あなたは、他のクラスの保育について、疑問や感想・意見を、お互いの向上のために、言葉に配慮しながら素直に述べるすることができますか。		
9	あなたは、研修で得た内容・成果は、園の職員にわかるように丁寧に説明し、意見交換するために役立てていますか。		
10	あなたの保育実践について、園長はじめ他の職員が把握できる保育日誌などの記録が書けていますか。		

	A	B	C	計
9月	28%	57%	15%	
3月	37%	54%	9%	

VII. 社会人として

		9月	3月
1	保育士としての服装や身だしなみがきちんとできていますか？		
2	遅刻・欠勤をせず、余裕を持って出勤していますか？		
3	書類物は期限内にしっかり提出していますか？		
4	保育(仕事)は楽しく行っていますか？		
5	常に子ども目線で保育していますか？		
6	丁寧な言葉遣いで保育していますか？		
7	毎日笑顔で保育していますか？		
8	思いやりと感謝の気持ちで保育していますか？		

	A	B	C	計
9月	63%	35%	2%	
3月	70%	27%	3%	

総合評価

	A できてる	B ややできてる	C 努力が必要
9月	44%	44%	12%
3月	56%	36%	8%

【総評】

I 保育の理念・保育観

保育の理念・保育観については9月の評価ではAが58%であったのに対して3月には70%に向上している。AB合わせるといずれも95%以上となっている。児童福祉法の理念に基づいて、保育園の使命をきちんと理解し、日々の保育に取り組んでいると評価したい。

II 保育の内容について

①保育計画・指導計画

9月はAが32%、3月には54%と向上している部分は評価したい。保育所保育指針をきちんと理解して、一人ひとりの子ども達のことを考えた保育計画・指導計画を作成、実践し、自身の保育を振り返ることをもっと計画的・意識的にひとりひとりが行えるように指導していきたい。

②乳児保育

当該年度は乳児の受け入れがなく、乳児がいなかったため該当保育士もいないので乳児保育に関する自己評価は未記入となっている。

③3歳未満児保育(1、2歳児)

9月はAが55%、3月は60%と向上している。AB合わせると97%以上となっている。今後とも子ども達ひとりひとりに寄り添った保育を行い、子どもの基本的な生活(食事・排泄・睡眠)リズムを身につけるとともに、保育士との信頼関係を育みながら、一人ひとりの気持ちに応じて寄り添える保育ができるようにつとめていきたい。

④3歳以上児保育

9月はAが36%、3月は48%と向上している。AB合わせると9月は85%から3月は89%になっている。今回は他の評価項目に比べて設問数が多いため、数字的にもあまり良くない結果となっているので全体的なバランスをみながら評価内容を再度考察していきたい。集団保育の中で、子ども一人ひとりとしっかりと向き合いながら、子どもの気持ちを大切に、自立心を促し、また好奇心・探究心を育てていきたい。

⑤特別な配慮や支援を必要とする子ども(障害児)の保育

9月はAが34%、3月は38%と向上している。AB合わせると9月は75%、3月は83%となっている。当項目は発達支援担当の保育士以外も回答しているため低い数字となっている。担当ではないから関係ないと思わず、きちんと支援児のことを全ての保育士が理解してほしいと思う。設問内容も再度見直し、検討していきたい。

III 保健活動・安全管理

9月はAが29%、3月は51%と向上している。AB合わせると9月は72%、3月は90%となっている。9月の時点での数字の低さが気になる。子どもの健康と安全に関する項目なので、保健活動・安全管理については全職員に日頃から意識し取り組んでいくように周知徹底していきたいと思う。

IV 保護者・地域社会・関係機関との連携

9月はAが55%、3月は79%となっている。AB合わせると96%以上となっている。子どもの様子を保護者にきちんと丁寧に伝えること、保護者の思いをしっかり受け止めること、育児の悩みや疑問にしっかり応えること等、これからも積極的に保護者支援に努めていきたい。

V 保育園の勤務・役割分担

9月はAが39%、3月は44%となっている。AB合わせると83%以上となっている。自身の職務や役割をきちんと理解することはチームで保育するという観点からとても大切なことである。このことを意識して、他クラスや他職種の職員とも気軽にコミュニケーションが取れるように配慮したい。

VI 保育士としての資質向上（研修・研究活動）

9月はAが28%、3月は37%となっている。AB合わせると85%以上となっている。Aの数字の低さが気になる。園内外への研修を促し、知識技術を身につける機会を増やすだけでなく、自己啓発も含めた保育士としての資質向上のための環境整備を整え、保育士一人ひとりの資質向上に取り組んでいきたい。

VII 社会人として

9月はAが63%、3月は70%となっている。AB合わせると97%以上となっている。概ね良好といえる。保育士の前に一社会人としてのマナーや常識、仕事に対する姿勢が問われている。人間性豊かな社会人となれるように園内外でも良識ある行動を心がけたい。